

桜の聖母学院中学校・高等学校 平成 29 年度 シラバス

履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
中学 2 年		数学	数学, 数学演習	5+1	必修

教科書	中学校 数学 2 (数研出版)
その他の教材	スパイラル式数学のパターン演習 2 年 (新学社)

目標	<p>文字式を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を養う。</p> <p>具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。</p> <p>図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察する基礎を培い、基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験を通して理解を深める。図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法を理解し、推論の過程を的確に表現する能力を養う。</p> <p>自然現象や社会現象についての場合の数を、論理的に考察することができるようにし、確率的な見方や考え方を培う。</p>
学習のねらい	<ol style="list-style-type: none"> ① 事象の中に数量の関係を見だし、それを文字で式に表現し活用する能力を伸ばすとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。 ② 連立二元一次方程式について理解し、それを用いることができるようにする。 ③ 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。 ④ 観察、操作や実験を通して、基本的な平面図形の性質を見だし、平行線の性質を基にしてそれらを確かめることができるようにする。 ⑤ 平面図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察する能力を養う。 ⑥ 確率の意味について理解し、起こりうる場合を樹形図や表を利用して順序よく調べるとともに、論理的に確率を求めることができる。
定期考査	中間考査・期末考査ともに実施 (年 5 回)
評価の観点 および 評価の方法	<p>学期評価 (1 学期) 中間テスト 3 割程度, 期末テスト 3 割程度, 平常点 4 割程度 (2 学期) 中間テスト 3 割程度, 期末テスト 3 割程度, 平常点 4 割程度 (3 学期) 期末テスト 6 割程度, 平常点 4 割程度</p> <p>平常点は以下の項目で評価します。 授業時の確認テストおよび単元テスト (全学期) 課題・宿題の提出状況 (全学期)</p>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の授業に持参してもらうものは、以下の通りです。 教科書 問題集 授業用ノート(1 冊) 提出用ノート(1 冊) ・その他、授業に必要なもの(定規・コンパス・分度器等)は、随時授業で指示します。 ・数学演習は授業で学習した内容について問題演習を行います。基本的事項を確認するコースと発展的な内容を取り扱う 2 つのコースに分けて実施します。

桜の聖母学院中学校・高等学校 平成 29 年度 年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容	テストと評価
1 学 期	4 月	第1章 式の計算 1. 式の計算 2. 文字式の利用	
	5 月	○章末演習 第2章 連立方程式 1. 連立方程式	第1回単元テスト 【一学期中間試験】
	6 月	2. 連立方程式の利用 ○章末演習 第2章 1次関数 1. 1次関数	第2回単元テスト 【一学期期末試験】
	7 月	2. 1次関数と方程式	
夏季休業			
2 学 期	8 月	2. 1次関数と方程式	
	9 月	2. 1次関数の利用 ○章末演習 第4章 図形の性質と合同 1. 平行線と角	第3回単元テスト
	10 月	2. 三角形の合同 3. 証明	【二学期中間試験】
	11 月	○章末演習 第5章 三角形と四角形 1. 三角形	第4回単元テスト 【二学期期末試験】
	12 月	2. 四角形	
冬季休業			
3 学 期	1 月	○章末問題 第6章 確率 1. 確率	第5回単元テスト
	2 月	○章末問題	第6回単元テスト 【三学期期末試験】
	3 月	○学年末演習	
春季休業			